

案件概要表

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	ブラジル連邦共和国
2. 案件名	ブラジル国ライフスキルトレーニング（LST）持続発展のための組織力向上プロジェクト（草の根協力支援型）
3. 事業の背景と必要性	アラカチ市は、州都フォルタレーザから 150 km（車で約 2 時間半）に位置し、都市部・農村部・沿岸部の 3 つのエリアで構成される人口 75392 人の市である。主な産業は農業、漁業、観光業であるが、貧富の差は国内ワースト 5 位と格差が広がっている（セアラ州の平均所得は 2020 年度 R\$817.26/月（最低賃金 R\$1045.00/月）、全体の 40%は R\$96.60/月、貧富の差は国内ワースト 5 位 2020 年 RedODSAL）。特に、急激な観光化による治安の悪化によって、子どもの安全（アルコール・薬物依存、麻薬売買、売春などが蔓延し、子どもが犯罪に巻き込まれるケースが多発及び家庭崩壊に陥る家庭数が増加）が脅かされている。 上記課題の解決のためには、2013 年から実施してきたライフスキル授業の質や教員の質を一定に保ち、持続可能な実施体制を構築する必要がある。
4. プロジェクト目標	アラカチ市内で質の高いライフスキルトレーニング（LST）を自ら持続発展させる仕組みができる
5. 対象地域	ブラジル連邦共和国セアラ州アラカチ市
6. 受益者層 （ターゲットグループ）	アラカチ市ライフスキル普及委員会（4 名） LST トレーナー（17 名） LST 担当教員（13 校 20 名） アラカチ市内の公立小・中学校教員（13 校 260 名）
7. 生み出すべきアウトプット及び活動	<p>アウトプット 1. ライフスキルトレーニング（LST）の実施体制が強化される</p> <p>1-1 アラカチ市ライフスキル普及委員会が、LST 全体の統括及びトレーナーグループの後援を行う組織として再編成される。</p> <p>1-2 アラカチ市ライフスキル普及委員会が、トレーナーグループを結成する。</p> <p>1-3 アラカチ市ライフスキル普及委員会とトレーナーグループが協同で、トレーナーグループの役割及び業務を明文化する。</p> <p>1-4 トレーナーグループが中心となり、定例会議を実施する。</p> <p>1-5 トレーナーグループが中心となり、全ての LST 導入校（13 校）の LST 担当教員に対して研修を計画及び実施する。</p> <p>1-6 全ての LST 導入校（13 校）において、LST 担当教員が作成した年間授業計画を共有する。</p> <p>1-7 トレーナーグループが全ての LST 導入校（13 校）を訪問し、モニタリング及び評価を実施する。</p> <p>1-8 アラカチ市ライフスキル普及委員会主導により、アラカチ市内の全ての小中学校（45 校）に対して、LST についての啓蒙活動を実施する。</p> <p>アウトプット 2. ライフスキルトレーニング（LST）の質が強化される</p> <p>2-1 アラカチ市ライフスキル普及委員会の主導で、LST トレーナーの中から日本での研修参加者 2 名を選抜する。</p> <p>2-2 研修参加者 2 名を日本の教育現場に招聘し、秦野市教育委員会を中心に学級経営、授業づくり、授業資料の共有システム、授業研究等について学ぶための研修を実施する。（新型コロナウイルス感染症等の影響により、来日が困難となった場合には、秦野市教育委員会と協働でオンラインにて対応する）</p> <p>2-3 本邦研修から帰国後、研修参加者 2 名による、全てのアラカチ市公立小中学校の現地教職員を対象とした報告会やワークショップを開催する。</p> <p>2-4 トレーナーグループにおいて、研修参加者 2 名を中心に授業資料（授業計画、板書計画、指導案、報告書、補助教材等）を共有可能なオンライン上のシステムを構築する。</p> <p>2-5 トレーナーグループにおいて、研修参加者 2 名を中心に LST 担当教員のスキルアップの仕組み（研修や授業研究、個別指導の実施体制）を構築する。</p> <p>2-6 トレーナーグループが中心となり、全ての LST 導入校（13 校）において、授業研究を実施する。</p> <p>2-7 トレーナーグループが中心となり、モニタリング及び評価の低い LST 担当教員を対象に、フォローアップ研修・個別指導を実施する。</p> <p>2-8 全ての LST 導入校（13 校）において、地域住民を対象に、地域と協働で LST の啓蒙活動としてのイベントを開催する。</p>

	2-9 日本から学校教育専門家（秦野市教育委員会）を現地に派遣し授業資料の共有システムや教員スキルアップの仕組みについてモニタリング・評価を実施する。（新型コロナウイルス感染症等の影響により、渡伯が困難となった場合には、秦野市教育委員会と協働でオンラインにて対応する）
8. 実施期間	（西暦）2022年12月～2024年12月（2年0ヵ月）
9. 事業費概算額	9,977千円
10. 現地カウンターパート	ブラジル国セアラ州アラカチ市政府
II. 実施団体の概要	
1. 提案地方公共団体名／団体名	特定非営利活動法人光の子どもたちの会
2. 活動内容	ブラジルにおいて、教育を通じた事業を行い、子ども達が自らの将来を選択していくための生きる力が持てるようにすると同時に地域の伝統文化を通じて、地域住民自らの生活安定及び向上を目指していくとともに、日本国内の一般市民に対し、普及啓発や国際交流・協力の場を提供し、日本とブラジルの相互理解や国際協力の発展に寄与する事を目的とする。